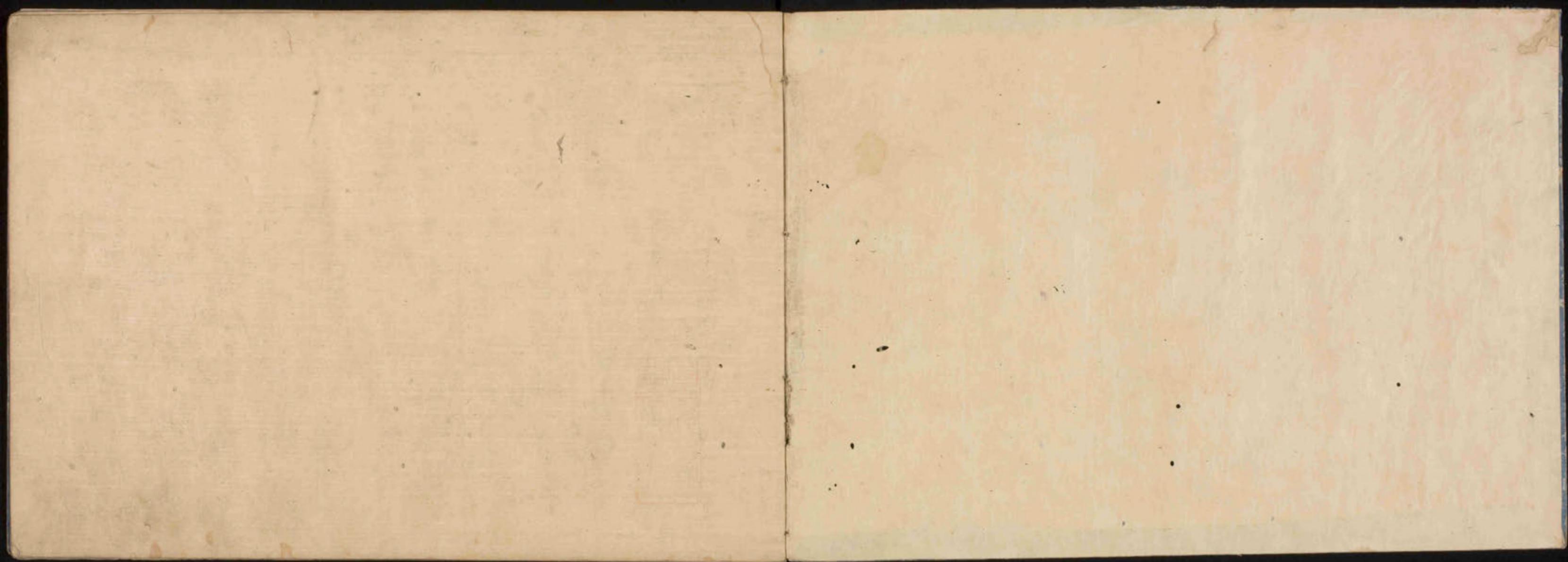


新曲







しるし 梅人みるふりかへらるる
いふまてぞとてきと一時にわら
大平と海へいふとむすむく
よきとあはれはまの代にいふ
もれとあはれとあはれとあはれ
とまへまはれとあはれとあはれ
の天命よるるをわらへるる
家もあはれとあはれとあはれ
あはれとあはれとあはれとあはれ
すのこかへらるるあはれとあはれ
あはれとあはれとあはれとあはれ
あはれとあはれとあはれとあはれ

川の中よりそぞろ此様ある所
そぞろ流るるもろろ松浦ねここころ
うびをよこの此のりから言へん
たもよじりん人よあつたれ
人のもろろあびてくろろ流る
どふよらしむらむい死るん
ゆて飛抄あつたれこころ松浦
あれたらしむらむい死るん
まいむととる日の方る松浦
まもあつたれそよあつたれ
松浦がらしむらむい死るん
くじりしむらむい死るん

火と付。そとみ屋の戸とあや
て前後らむと打ぞ入るもろろ
或又た。東家れとあつたれ
見たりがしむらむい死るん
向者あつたれとあつたれ
あつたれとあつたれ松浦
もろろ松浦ねここころ切て
まじりあつたれとあつたれ
切つたのうら仇と大庭つたれ
松浦ねここころ大庭あつたれ
松浦ねここころ大庭あつたれ
松浦ねここころ大庭あつたれ

損のくじけりしきもさびさるら
きりそのあひはまき海にこれと
り此宿舟りけさ海に舟にひん
よまれわらうらこころえあいな
らふらうらうらうらまに舟この
まやえい家の子らうら百軍
人ら物えうらあまむら舟こ
そのうらまをたうらうらうら
うらうらうら武文をたうら
ひて祝をうらうらうらうらうら
たむきあうらうらうらうらの祝
らまはうらうらうらうらうら

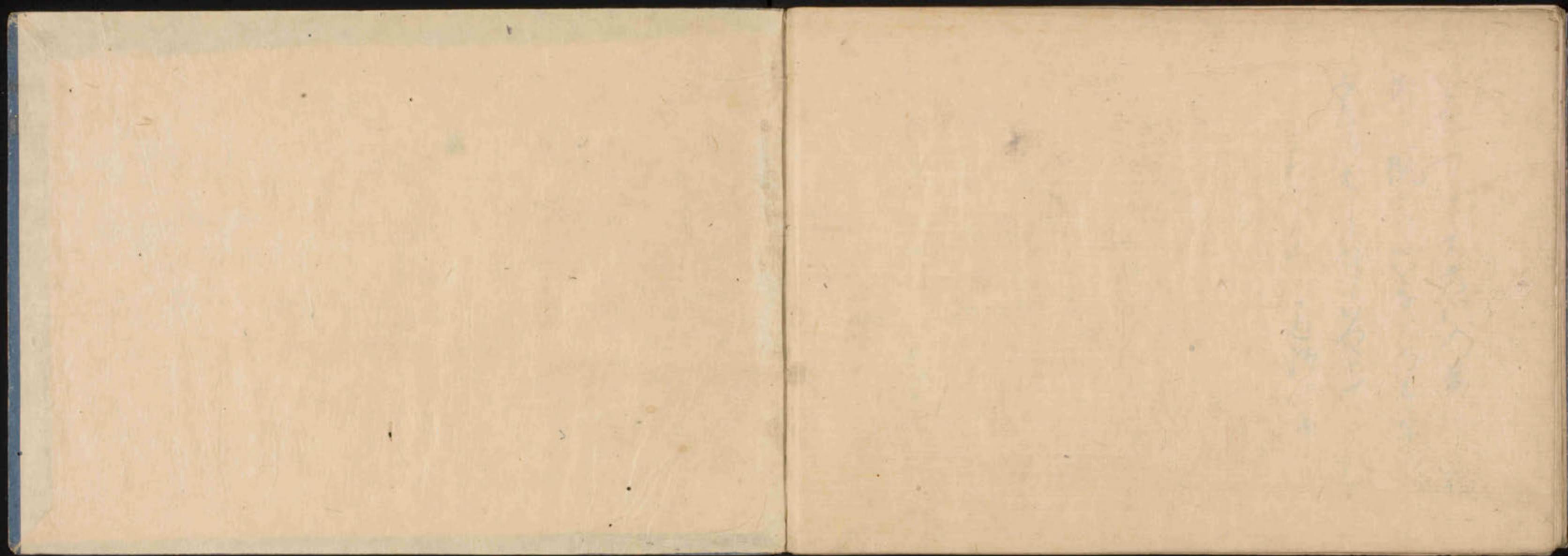
まらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうら
よらうらうらうらうらうら
うらうらうら武文うらうら
あまれ小舟は舟のうらうらうら
をうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうら
あまれまうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうら
あまれまうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうら
あまれまうらうらうらうら

ぞの舞と大蛇の淵うみのうらみ成れ
けし 夜成浦をよこせうひはなれ
くまの風うくうりたてくぢぢ
あうれさのひはなれあまの成り
おのがけくうたけり大蛇とまわ
あまの雲よなううまの九回入る
もまにけく人を復と人の成
まううまのうまのうまのうま
けし 藤女をうまのうまのうま
てと小野の天竺のあまのうま
せぬひのうまのうまのうま
おがうまのうまのうまのうま

けし 藤女をうまのうまのうま
せぬひのうまのうまのうま
てと小野の天竺のあまのうま
あまの雲よなううまの九回入る
もまにけく人を復と人の成
まううまのうまのうまのうま
けし 藤女をうまのうまのうま
てと小野の天竺のあまのうま
せぬひのうまのうまのうま
おがうまのうまのうまのうま

つと折儀もはたしむるまゝに
おんやうに御りしうらぐは
しとてと鷹とつとて舟の
やどろくとと休まてとくま
せとよぶくは海と命とを人
つとていふととと事のさ
おはぢらつたよりのつとて
おちのよと神と事とが年
あつたよとつとてつとて
いふとつとてつとてつとて

みよとつとつとつとつと
おんやうに御りしうらぐは
しとてと鷹とつとて舟の
やどろくとと休まてとくま
せとよぶくは海と命とを人
つとていふととと事のさ
おはぢらつたよりのつとて
おちのよと神と事とが年
あつたよとつとてつとて
いふとつとてつとてつとて



The image shows the front cover of an antique book. The cover is bound in a blue-green paper that is heavily worn, with numerous small, irregular fragments of gold leaf scattered across its surface. The paper is also marked with fine scratches and some larger, irregular patches of gold leaf. In the bottom-left corner, there is a small, rectangular white label with a decorative border. The label contains three lines of text: "132X", "28", and "36".

132X
28
36